



# 尚和会報

## 尚和会総会のごあんない

平成10年5月17日(日)

ホテルアイボリーにて (豊中駅東口すぐ ☎06-849-1111)

◆総 会.....12:00~12:30 (受付11:30~)

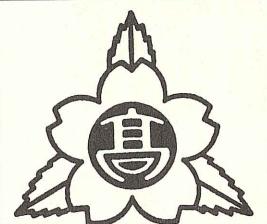
◆立食パーティー.....12:45~14:45

◆アトラクション....・和太鼓連弾 出演：豊中市和太鼓サークル『鼓舞子』  
・お楽しみ福引き

◆会 費.....¥5,000 ('94以降の卒業者¥2,500)

98

平成10年4月15日



発行 尚和会

発行責任者 萩野哲男

編集責任者 田中 渡

鼓舞子.....平成3年、蛍池公民館の登録グループとして結成されました。

《プロフィール》 現在（平成7年）の会員数は77名で、9才の小学生から50才の方まで、幅広い年齢層の方々が集まって、週一回、公民館を中心に練習しておられます。演目は日本の各地に広がる太鼓や踊りで、府内各地のイベントや集会等で活躍されています。



## 会長挨拶

尚和会会長

荻野哲男

# 尚和会報

平成10年4月15日

昨年は、金融機関を始め企業の大型倒産の続出、凶悪犯罪の続発等、地域社会の安定と安全が揺らぎ厳しい一年がありました。尚和会にとりましては、母校の創立六十周年事業に明け暮れた一年でありました。

会員名簿の発行、東京支部の発足、記念総会の開催、更に母校主催の記念式典等、これら記念事業が無事にかつ盛大に取り行うことができましたのは、これもひとえに会員の皆様方の母校及び同窓会に対するご支援、ご指導の賜物であると心から感謝申し上げる次第です。

現在、尚和会は東京支部の育成と援助、近隣校の同窓会に較べて、かなりの遅れをとつております。事務処理のコンピューター化、更に財政の再建等、二十一世紀までに避けては通れない諸問題を抱えております。このうち事務処理のコンピューター化については、本年度から、コンピューター化を行うことになり、会報の発行と発送、会員名簿の発行と発送を併せて、全てトータルで専門業者に委託することになりました。

更にこの業者委託により毎年の恒例会員名簿の発行は、現行の十年から五年に一回のサイクルで発行することになりました。この業者委託により毎年の恒例の行事であります。尚和会議室での会報の発送作業の光景も今後見られなくなり少し寂しい気が致します。本当に長い間、皆様方のご協力を頂き、誠に有り難うございました。

次に最も大事な財政の再建につ

いては、金融機関を始め企業の大型倒産の続出、凶悪犯罪の続発等、地域社会の安定と安全が揺らぎ厳しい一年がありました。尚和会にとりましては、母校の創立六十周年事業に明け暮れた一年でありました。

昨年は、金融機関を始め企業の大型倒産の続出、凶悪犯罪の続発等、地域社会の安定と安全が揺らぎ厳しい一年がありました。尚和会にとりましては、母校の創立六十周年事業に明け暮れた一年でありました。

会員名簿の発行、東京支部の発足、記念総会の開催、更に母校主催の記念式典等、これら記念事業が無事にかつ盛大に取り行うことができましたのは、これもひとえに会員の皆様方の母校及び同窓会に対するご支援、ご指導の賜物であると心から感謝申し上げる次第です。

現在、尚和会は東京支部の育成と援助、近隣校の同窓会に較べて、かなりの遅れをとつております。事務処理のコンピューター化、更に財政の再建等、二十一世紀までに避けては通れない諸問題を抱えております。このうち事務処理のコンピューター化については、本年度から、コンピューター化を行うことになり、会報の発行と発送、会員名簿の発行と発送を併せて、全てトータルで専門業者に委託することになりました。

更にこの業者委託により毎年の恒例会員名簿の発行は、現行の十年から五年に一回のサイクルで発行することになりました。この業者委託により毎年の恒例の行事であります。尚和会議室での会報の発送作業の光景も今後見られなくなり少し寂しい気が致します。本当に長い間、皆様方のご協力を頂き、誠に有り難うございました。

次に最も大事な財政の再建につ

いては、一昨年、財政見直し委員会を発足させて抜本的な改革に取り組んでまいりましたが、いよいよ来年度から会報を有料制（委員会報告参照）にすることになります。又、この有料制に踏み切ることにより、多少のデメリットも生じてくるものと思いますが、今後、木目の細かい対策を併せて講じていくことが大事なことと考えております。

尚和会の皆様方のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。



## 新しい学校の役割と 母校といふ縊

桜塚高校校長

福山勇

新しい年度を迎えるに当たり、一言、あいさつを申し上げます。

尚和会の会員の皆様方におかれましては、日頃から母校に深い関心を持たれ、後輩たちの諸活動に期待を寄せ、熱い眼差しで見守つて下さり、有形無形のご支援を賜っていることに対しまして厚くお礼を申し上げます。

昨年は、創立六十周年を迎え、五

月十八日に行われました尚和会の主催する母校創立六十周年記念総会・祝賀会と十一月十五日に行われた学校行事としての記念式典、

祝賀会のいずれもが盛会裏に終わ

りました。これもひと

えに、尚和会長をはじめ会員の皆様方のご支援の賜物と心から感謝いたしております。歴史と伝統の重みをひしひしと感じ、校長としての責任の重大さを改めて思い知らされた次第であります。

この業者委託により毎年の恒例の行事であります。尚和会議室での会報の発送作業の光景も今後見られなくなり少し寂しい気が致します。本当に長い間、皆様方のご協力を頂き、誠に有り難うございました。

次に最も大事な財政の再建につ

いては、一昨年、財政見直し委員会を発足させて抜本的な改革に取り組んでまいりましたが、いよいよ来年度から会報を有料制（委員会報告参照）にすることになります。又、この有料制に踏み切ることにより、多少のデメリットも生じてくるものと思いますが、今後、木目の細かい対策を併せて講じていくことが大事なことと考えております。

尚和会の皆様方のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。

この新しい年度を迎えるに当たり、一言、あいさつを申し上げます。

尚和会の会員の皆様方におかれましては、日頃から母校に深い関心を持たれ、後輩たちの諸活動に期待を寄せ、熱い眼差しで見守つて下さり、有形無形のご支援を賜っていることに対しまして厚くお礼を申し上げます。

昨年は、創立六十周年を迎え、五月十八日に行われました尚和会の主催する母校創立六十周年記念総会・祝賀会と十一月十五日に行われた学校行事としての記念式典、

祝賀会のいずれもが盛会裏に終わりました。これもひと

えに、尚和会長をはじめ会員の皆様方のご支援の賜物と心から感謝いたしております。歴史と伝統の重みをひしひしと感じ、校長としての責任の重大さを改めて思い

知らされた次第であります。

この業者委託により毎年の恒例の行事であります。尚和会議室での会報の発送作業の光景も今後見られなくなり少し寂しい気が致します。本当に長い間、皆様方のご協力を頂き、誠に有り難うございました。

次に最も大事な財政の再建につ

いては、一昨年、財政見直し委員会を発足させて抜本的な改革に取り組んでまいりましたが、いよいよ来年度から会報を有料制（委員会報告参照）にすることになります。又、この有料制に踏み切ることにより、多少のデメリットも生じてくるものと思いますが、今後、木目の細かい対策を併せて講じていくことが大事なことと考えております。

尚和会の皆様方のご多幸とご健勝をお祈り申し上げます。

この新しい年度を迎えるに当たり、一言、あいさつを申し上げます。

尚和会の会員の皆様方におかれましては、日頃から母校に深い関

心を持たれ、後輩たちの諸活動に期待を寄せ、熱い眼差しで見守つて下さり、有形無形のご支援を賜っていることに対しまして厚くお

礼を申し上げます。

昨年は、創立六十周年を迎えた

時代の変化と共に学校の果たす役割にも大きな変化が起こりつつあります。高学年社会を実現し、

高齢化社会を迎えることとなつた我が国においては、高度知識社

会や高度情報社会の到来が予測されています。二十一世紀の社会のあるべき姿を目指して、どのような産

業を起こす必要があるのか、その

ための金融システムの在り方や労働の在り方、生活の質や福祉制度

をどのように改善するのか、さま

ざまな分野で制度の枠組みの再構築が声高に叫ばれております。

教育分野においても例外ではな

く、こうした社会の動きを反映し

て新しい時代に対応した教育シス

テムの再構築や教育内容や指導方

法の在り方をどのように改善して

いくべきかが中央教育審議会で検討が進められております。

こうした流れの中で、現在の学

校週五日制が実施されることとな

っています。生徒たちは一週間のうち五日間を学校で過ごし、二

日を自分が自由に使える時間とし

て家庭や地域社会で過ごすことにな

ります。

このような時代が到来した場

合、生徒がいなくなる二日間の学

校の活用の在り方や家庭や地域社

会で過ごすこととなる生徒たちの

生き方などに変わつて、生き方の

かといつたことが現在、さまざま

な角度から検討されておりま

ります。これから時代は、豊中市の住

民の皆様方の参加を得て検討し

ていかなければならぬと考えて

おります。これから時代は、新

しい学校運営の在り方に向

ついて、尚和会の会員の皆様を始めPTAのかたがた、豊中市の住

民の皆様方の参加を得て検討し

ていかなければならぬと考えて

おります。これから時代は、新

しい学校運営の在り方に向

ついて、尚和会の会員の皆様を始め

PTAのかたがた、豊中市の住

民の皆様方の参加を得て検討し

ていかなければならぬと考えて

おります。これから時代は、新

しい学校運営の在り方に向







# 祝学校誕生六十年

P.T.A.が中心となつて豊中市民会館にて式典及び祝賀会が盛大、かつ厳肅に行われました。豊中市長、教育長、大阪府教育委員会をはじめとして、多数のご来賓から祝辞をうけ、又旧職員及び尚和会役員、会員の方々も多数出席しました。桜塚高校の伝統の重みを感じました。

## 平成10年度 評議員会及び理事会予定表

### 評議員会

第1回 10年9月 5日 (土) 会費制  
2回 11年3月27日 (土) 尚和会議室

### 理事会

第1回 10年5月 9日 (土) 尚和会議室  
2回 9月 5日 (土) 会費制  
3回 11月 7日 (土) 尚和会議室  
4回 11年1月17日 (日) 新年理事会  
会費制  
5回 3月20日 (土) 尚和会議室

### 平成11年度

総会………5月16日 (日) 第3日曜日  
会場未定

## 平成9年度

### 活動報告について

行事担当副会長 三上 昌昭

昨年度に続き、今年度も尚和会は順調に活動を開始しました。

一、会報は創立六十周年記念特集号で四頁増で企画されました。

二、会報委員の方々が中心に

なり総務の強い応援と、恒例

の封筒入れ作業のおかげで、

予定に間に合つて郵便局に送

り出しました。

三、事業の一つである、同窓会名

簿の発行、送付作業が追加さ

れております。昨年度から

名簿委員会を中心にして活動

してきましたが、最後の追い

込みで、住所、新郵便番号の

確認と、緻密で地味な作業が

続きました。名簿委員の皆様

本当にご苦労さまでした。

創立六十周年記念総会

懇親会は五月十八日ホテルヒル

トンで開催されました。来賓七

名を含む総勢四三八名の御出

席を頂きました。当日参加者

本當にご苦労さまでした。

五、

り組んでおられます。

四、

理事會、評議委員会は予定通

り開催されました。六十周年

記念事業の反省も含めて提

案、検討、承認等活発な活動

が続いています。また、役員

会、各委員会も隨時、必要に

応じて活動され、尚和会のさ

らなる発展に向かつて頑張っ

ております。

三、

記念事業収支決算書

(単位:円)

収支入					支	
摘要	金額	摘要	金額			
パーティ会費 (431名)	4,310,000	ヒルトン支払い	3,067,010			
ご祝儀	50,000	名簿発行費 (2,000冊)	6,930,000			
名簿広告代 (84件)	2,840,000	名簿・記念誌発送費	497,430			
名簿売上 (955冊)	3,342,500	記念誌発行費 (1,500冊)	3,000,000			
記念誌売上 (442冊)	884,000	雑費	227,146			
60周年協力金	2,964,700	残金を事業積立金に繰入	669,614			
合 計	14,391,200	合 計	14,391,200			

### 【貸借対照表】(平成10年3月31日現在)

(単位:円)

借 方		貸 方	
現金	92,048	入会預り金 (451名)	1,804,000
普通預金	4,740,318	尚和会積立金	6,400,000
定額貯金	9,180,000	名簿発行準備金	1,550,000
		尚和会事業積立金	3,619,614
		次期繰越金	638,752
合 計	14,012,366	合 計	14,012,366

以上報告いたします。

財務担当副会長 (高15期) 大畠光昭

会計 (高7期) 林下由美子

会計 (高8期) 岩藤雅子

監査の結果誤りのないことを報告します。

会計監査 (高1期) 安達良子

会計監査 (高6期) 澤田作哉

## 鐘のひびき

鈴鹿常雄君（高四期）

高四期 佐藤 肇  
を偲ぶ

彼が逝つて、はや一年になる。  
思えば、人に親切で、誠実な男であつた。また、純真で、忍耐強い男でもあつた。だからこそ、生涯の親友になれたのだと思う。

旅行好きの彼は、学生時代に学割をフルに利用して、日本一周ローカル線の旅を志し、最果ての地に到達しては感激していた。そんな彼のロマンスの中に、ある旅先で、正に鈴鹿流「アンコ椿の物語」が誕生しそうな場面があつたことが、今は懐かしい。

彼は社会人になつた後も、恩師を慕う生徒であった。彼の胸中には、ずっと特別のA先生（女性）がおられた。彼によれば、その姿ばかりでなく、話し方までもが、彼の母親にそつくりだつたらしく。幼児に母を亡くした彼は、心密かにA先生の中に、その面影を追いかけていたようだ。

ところで、この度刊行された新会員名簿（一九九七年版）は、事務方を引き受けた鈴鹿御夫妻の、精魂を傾けた格別の御尽力の賜物でもあり、彼の遺作となつた傑作であると思う。刻々と迫り来る死の病魔と闘いつつ、名簿の完成にかけた、彼のすさまじい執念と責任感の強さには、何人も心から敬佩するに違ひない。

なお、一九九七年四月四日の彼の葬儀には、多数の同窓生の方々が参列して下さり、本当にうれしかつた。「去る者は日々にうとし」と言つたが、願わくば、ここに「誠」

意を尽くすこと」を信条として生きた男、鈴鹿常雄君がいたことを、どうか、時々は思い出して欲しいものである。拙歌にて追悼したいと思う。

うつせみの心も晴れて逝く君は  
桜の塚に名残どどめて

### 「紫電改」

高女一期 越水 ユリ

このところ一年に一度は必ず会うことにしている同窓会女子挺身隊の会ですが、昨年は事情がありて四回の遙瀬？がありました。

三回目の十一月一日、豊中市美術展を観て歩いている中で、「ボ

スター、デザイン」の室に入つて

「川西紫電改」と飛行機の写真が

皆の眼の中に飛び込んできました。

「今（一九九七年）から五十四年前も前？」「第二次世界大戦終

わり頃に現われ活躍した」「日本

の高性能戦闘機」「今ここに甦る

：「みんなで顔を見合わせて奇声

を発したようです。バンザーイ！

ともいいたかったようです。「ち

よつとちよつとこのフラップやな

いの！そやんかあ！ほんま、ほん

まこれやわあ！」それはもう震え

るぐらいの感激でした。「これで

つくつた人は紫電改に関係あるよ

ね、」とか、「ひょっとしてあの

石産精工で一緒に働いていた

人？」とか想像いろいろふくら

ました。（挺身隊のことは折があ

れば、ということになります）

でした：

一月十八日尚和会新年理事会の

席上、「紫電改」をお渡しした次

第です。裏側には、きつちり旧姓

で十三名の名前をはりつけたとき

ました。（挺身隊のことは折があ

れば、ことになります）

た。

そこで第四回の出会いを十二月

十四日豊中市美術協会会員展最終

日に彼から私達への贈呈式という

形をとつて、みんなに彼を紹介し

ました。そのすがすがしさその素

直さ私達みんなでべんに彼の

ファンになつたことでした。

二回目の集い七月十八日は高女

二期の佐藤美和子さんの葬儀の日

でした：

一月十八日尚和会新年理事会の

席上、「紫電改」をお渡しした次

第です。裏側には、きつちり旧姓

で十三名の名前をはりつけたとき

ました。（挺身隊のことは折があ

れば、ことになります）

た。

そこで第四回の出会いを十二月

十四日豊中市美術協会会員展最終

日に彼から私達への贈呈式といっ

た。

そこで第四回の出会いを十二月

十四日豊中市美術協会会員展最終

日に彼から私



## 高校十二期会 同期会の報告

十一期 谷 末 光 一

### 同期会の報告

当日は、井上まさ先生、内田先生、長尾先生、牧先生、辻内先生の五名の先生方に御出席頂き、生徒は、八十二名が出席しました。先生方は、井上まさ先生をはじめ、皆様とてもお元気で、お若く卒業以来、初めてお会いしました。長尾先生も、全然お変わりなく、びっくり致しました。

舞台では、先生方、お一人ずつに、近況をお聞きしまして、とても懐かしいお声と、楽しいお話に、あつという間に、時間が過ぎました。私共も、クラスごとに、舞台上に上り、一人ずつ近況を報告し、中には、もうおばあちゃんになつた人もいたり、色々な趣味を持つて頑張っている人やらと、何やら、色々刺激を受けて帰つきました。

又、五年後に、三十五周年を開催する予定ですが、今回出席できなかつた方も、ぜひ次回は御参加下さいますよう、楽しみに、お待ちしております。

(世話人一同)  
高校12期の同期会が平成9年11月2日(日)午後1時より大阪梅田のレストランパレス大阪ラクールにて開催されました。当日は担当をしていただいた先生方をはじめとして88名の皆様方が各地よりご参加いただき高校時代にもどつて色々と話しに花を咲かせ、旧交を温めあい次会の再会を約束して午後3時30分閉会しました。



## 高校二十期生 同期会報告

私達二十期生は、平成九年三月二十日(春分の日)に、梅田の新阪急ホテルで、卒業三十周年同期会を開催いたしました。



## 卒業三十周年記念 同期会報告

日時 平成10年4月15日(土)  
会場 ホテルアイボリー  
(阪急豊中駅前)

詳細は同封の案内状をご覧の上、同封ハガキにて出欠ご返信下さい。

## 同窓会予告

さい。  
多数の皆様のご出席をお待ちしています。  
幹事代表 宮口一郎

北之坊英美子 ○六一八五七一四八五九

村上(桶口) 美智子 ○六一八五七一四八一三

○六一八四四一一八四三

○六一八五二一四八五九

○六一八五七一四八一三

## 東京支部総会 高女五期生会ご案内

日時 平成十年四月二十六日(日)  
十二時から

会場 ホテルパンフィック  
エメラルドの間

(品川駅前)

## 高女五期生会ご案内

日時 平成十年十月十五日(木)

会場 ホテル「若水」宝塚

幹事 宝塚市在住者

多数のご参加をお待ちいたしております。

## 高女五期生会ご案内

日時 平成十年十月十五日(木)

会場 ホテル「若水」宝塚

幹事 宝塚市在住者

多数のご参加をお待ちいたしております。

## 高四期生にお知らせ

そろそろ余暇のできる年齢になりました。皆さんお気軽にお集まり下さい。

一年振りに四期会を計画しました。

この度は私達同期生の中からも

はや三十余名の方が亡くなられていきましたので法要も企画しております。

日時 平成十年六月二十七日(土)

会場 冷雲院

詳しく述べ同封のご案内をご覧下さい。

幹事一同

## 高校11期生8・9組 合同クラス会のご案内

日時 平成十年五月三十日(土)

会場 レストラン「カトレア」

メルバルク新大阪地下一階

(新大阪駅から北西徒歩五分)

会費 一万円

連絡先 吉田和久

下浦征司 ○六一八五七一四三五二

相談幹事 三 上 昌 昭

「名所・旧跡を巡る会」

バスツアーのお知らせ

柏原幹事 三 上 昌 昭

平成九年三月二十日(土)

午前十一時~午後二時

会場 ホテルアイボリー

(阪急豊中駅前)

夏の暑さを感じさせる陽射しの

日帰りの旅を楽しんできました。  
八時に岡町をバスで出発。  
動車道を一路和歌山へ。西国靈場  
第二番の「紀三井寺」に参拝し、  
お庭のきれいな新和歌浦「双子島  
荘」で昼食を取りました。大広間  
でゆったり時間をかけました。こ  
の後、NHK大河ドラマ「吉宗」  
で一躍有名になった「養翠園」の  
庭園巡りをし、最後は「お人形  
奉納」で有名な「淡島神社」を訪れ、  
夕刻六時に帰つて参りました。樂  
しい思い出に残る一日でした。

**次回予定**  
日時 平成十年十月十八日(日)  
場所 明石大橋経由淡路島方面  
会費 一万円  
多数の方々のご参加をお願いします。

## 十一期ゴルフ同好会 会員募集中

年に一度か二度 有志が集まり親睦ゴルフをはじめて何年かすぎました。仕事を忘れて一日快い汗を流して見ませんか。

山家雄三郎 ○六一八五七一四一〇〇

田中 渡 ○六一八五二一九三三

正午~午後三時

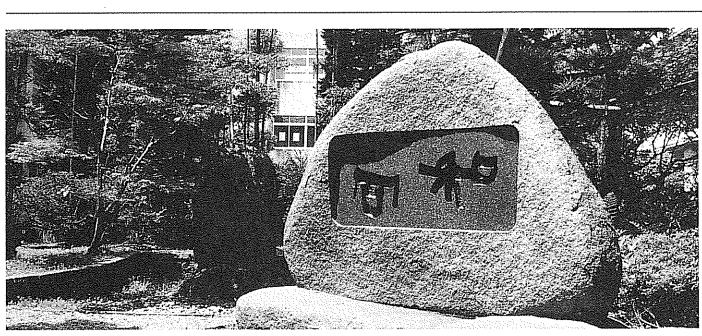
○六一八五七一四一〇〇

印刷・製本なんでも相談ダイヤル  
**0120-2021-82**  
チラシ, DM, パンフ  
伝票, 封筒, etc...

北川悟司(第18期)

株式会社きたかわプリント

〒560-0885 大阪府豊中市岡町10番1号 TEL(06)841-2021. FAX(06)841-2022



◆お知らせ◆  
今お読みの尚和会会報は、来年度より有料制になります。年会費は  
一〇〇〇円、実施は平成十一年度より。  
年会費は同封の振込用紙にてお振込み下さい。

## 財政見直し

### 尚和会会報 有料制のご案内

財務担当副会長 大畠 光昭

平成八年発足以来の「財政見直し委員会」にて、今後の尚和会の健全なる財政維持運営について、鋭意協議検討の結果、年一回発行の会報を有料制することになりました。

一、名称を「会報年会費」とする。

二、年会費は金一、〇〇〇円。

三、新卒者には卒業後五年間会報年会費未納入でも会報発送。

新卒者とは、平成十一年卒業の高五十一期、定四十九期以降の卒業生を云い、平成十一年卒以前の会員への会報発送期間は、平成十年卒四年間、平成九年卒三年間、平成八年卒二年間、平成七年卒一年間とし、平成六年卒（高四十六期、定四十四期）以前の会員は年会費納入者のみ発送。

四、毎会計年度末（三月末日）を年会費納入期限とし、会費納入者に対しその年の会報を發送。

五、実施時期、平成十一年度。（平成十一年三月末日迄に年会費一、〇〇〇円納入者はその年発行の会報を四月に発送）年会費とは別に、尚和会協力金は従来通り取り扱いますので、是非ご協力下さい。

以上、財政再建の第一歩としての会報有料制について、会員の皆様方のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 評議員会からの報告

議長 中右 吉信

平成九年度の評議員会は、去る三月二十八日に開かれ、次の四件の議案が審議された。

第一号議案 次期役員の選出の件  
役員（正副会長及び会計監査）の副会長に女性が何故選出されたのか、高女期からの役員もいるのではないかなどの意見が出たが、理事から各委員会に女性の副委員長を選出する。会報発送は次年度から業者委託にする。若い期の役員で活性化していく等の方針で承認された。

第二号議案 事業報告及び収支決算、第三号議案 六十周年記念事業、第四号議案 次年度の事業計画と予算の件については、会報年会費制の導入の周知徹底、終身会員の研究、名簿・記念誌の残部の販売方法について、活発な意見があつた。執行部としては、三万人に近い同窓生への会報の無料配布の続行に印刷・発送費と協力金の伸び悩みの推移からして、毎年赤字になつてゐる。財政見直し委員会での検討結果、平成十一年度から有料制を実行することになったといふと考えている。次号で大きく訴えたい。広く各期のニュースを掲載し、読んでもらえる会報をめざしていくとの方針で承認されました。

平成五年に評議員制度が発足して、まる五年、忌憚のない活発な意見が多く交わされている。

## 平成10年、11年度の新役員

平成10年3月28日の評議委員会にて、平成10、11年度の新役員が次のとおり承認されました。

会長	高6期 狹野 哲男	高10期 三上 昌昭	高11期 田中 渡
副会長	定6期 木田 隆幸	高11期 吉田 和久	高15期 大畠 光昭
会計	高19期 志賀 順子	高25期 小合 孝子	
会計監査	高5期 毛利 正幸	高6期 沢田 作哉	

### 偽りの名簿発行に注意

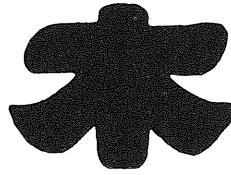
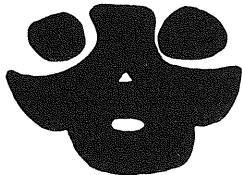
広報 田中 渡

昨今、桜塚高校同窓会事務所と名乗つて、同窓会名簿の販売と勧誘を電話又はダイレクトメールにて行つてゐる業者がいます。予約金として一〇、〇〇〇円を支払い、はじめて詐欺だと気が付いた会員の方もかなりあるようです。

尚和会としては今後定期的に名簿発行を模索しております。今回の会報発行にあたり、指定業者となりました関西廣済堂以外からの業者については細心の注意を払つていただくようお願い致します。

事務用品・文具  
日本法令様式  
オフィス家具

有限会社



本店 豊中市岡町9-4 TEL.(06)855-1111(代)  
FAX(06)855-5859

文具のタニキ千里店  
TEL.(06)875-0505  
谷木光一（高校12期）

## 母校創立60周年記念

### 尚和会会員名簿・記念誌（校歌CD付）発行

#### ●会員名簿

- ・7桁郵便番号記入
- ・表紙エメラルドグリーン
- ・規格サイズA4判
- ・価格¥3,500

#### ●記念誌

- ・主な記事：60周年の歴史 女学校から現在まで
- ・全日制この10年／定時制この10年
- ・自治会活動、文化祭、体育祭、クラブ活動など
- ・本校の震災被害状況

#### ●記念CD（5インチCD 60分）

- ・収録：校歌（合唱・ピアノ伴奏カラオケ・吹奏楽）、高女校歌、学生歌、応援歌、岡町商店街の歌（23期フォークソング部）、吹奏楽部・箏曲部・フォークソング部演奏、その他
- ・価格¥2,000

すでにお申し込み順に発送しています。記念にぜひお求め下さい。

郵便振込みで、住所・氏名（旧姓）・電話番号・卒期を明記の上、お申し込み下さい。

・加入者 尚和会（母校創立60周年）

・口座番号：00930-8-59574

・お問合せ：大阪府立桜塚高等学校 尚和会内

〒560-0881

豊中市中桜塚4-1-1 ☎(06) 2244

## お願 い

住所変更・改姓届は、期又は卒業年度・旧姓を必ず明記して下さい。

会員2万9千名以上、同姓同名の方がおられますので、旧姓卒期が記されていないと、訂正ができませんのでよろしくお願いします。

総務委員会

## お便りから

**高女二期 元山 葉津子**  
母校の創立60周年に出会う事が出来て、本当に嬉しいございました。神戸に来て50年。いつも、懐しい三つの鐘の音を思い出して居ります。

### 高女二期 有末 博子

震災で家が全壊し一年近く長男の家で同居して居りましたが、平成七年暮に元の場所に家を建て、現在主人と2人で健康に気を付け元気に頑張っております。

### 高女三期 桑山 真子

阪神大震災で母校も大変だったとのこと、私宅も半壊し解体してしまいました。私の住む池田市も大変でした。私は、地区福祉委員長をしていて、毎日が多く忙で日程もぎっしり。自宅さえもかまっている事が出来ず、走りまわっていました。今は、9月にやつと作った、小さくても新しい家に住んでいます。後3年ほど生きていまつたら、母校にも出かけたいと思っています。

### 高女四期 大島 澄子

去る3月12日、東京在住の四期会が築地の新阪急ビル(明石)で開かれ、久しぶりに14名の方と懐しました。桜塚は「ふるさと」ですね!

### 高女五期 阪本陽子

いつも会報を有難うござります。美しく年を重ねて行きたいと願っております。

### 高女五期 和氣 恭子

旧高女時代の運動部(バレー)、

バスケット、ハンドボールを含めの大集合企画で頂けません。よろしく御願い致します。

### 高一期 岡本 秀子

60周年記念特集号、胸を熱くして一気に読ませていただきました。大震災で御主人を亡くされた方の記事には涙がこぼれましたが、3人のお子様と運ましく生きていらっしゃる御様子に勇気づけられました。

### 高二期 鈴鹿 裕子

故鈴鹿常雄帰天に際しまして、尚和会並に各期会の皆様より過分の玉串料及び供花を頂戴いたし、誠に有難うございました。本人、最期まで気にしながらも、名簿の整理はますますむずかしくなる。お仕事半ばで逝き、皆様に大変御迷惑をおかけ致しましたこと、おゆるし下さい。

### 高四期 小川 尚子

会報が有料化されると、名簿のか昔になりつつある「我が青春宅急便」です。表紙の新・旧対比の写真がとても印象的でした。

### 高四期 林 正広

毎年1回の尚和会報は遠く遙か昔になりましたが、青春宅急便です。表紙の新・旧対比の写真がとても印象的でした。

### 高四期 辻野 栄見子

今春より市立桜塚保育所に転勤になり、毎日、母校の前を歩いて通勤しております。

### 高十一期 新谷 栄見子

大世帯では、発送作業もさぞ大変でしょう。ご奉仕、ありがとうございます。

### 高七期 津田 曜子

同窓会のお世話のしんどさは、他校ですが経験あり。尚和会の皆様の益々の御発展と御健康をお祈り致します。

### 高七期 津田 曜子

だと感謝しております。

### 高十九期 杉 明子

記念行事のご準備、さぞかし大変でございましたでしょ。関係者の方々に御礼を申し上げます。

### 高十九期 杉 明子

会報お送りいただきありがとうございます。会報有料化、賛成いたしました。

### 高十六期 中津 嘉代子

### 高十六期 中津 嘉代子

### 高三十三期 木下 美穂代

### 高三十三期 木下 美穂代

### 高三十五期 高橋 浩子

### 高三十五期 高橋 浩子

### 高三十期 平松 揚子

### 高三十期 平松 揚子

いつも、会報をなつかしく拝見をさせて頂きました。

六十周年の会報の母校の写真をみまして、想い出したことをお便りにさせて頂きました。

た。不明者リストがどれだけうまつか、楽しみにしています。私も2名分だけ協力させていただきました。

いつも、会報をお送りいただきまして、ありがとうございます。

先日、約20年ぶりにフォーカソング部時代の友人に会い、「岡町商店街の歌」の話をなつかしくしてもらいました。記念CDの発売、とてもうれしいです。

たところでした。記念CDの発売、とてもうれしいです。

めでとうございます。

いつも会報を送っていただきありがとうございます。商店街を久しぶりに通りました。

いつも会報を送つていただきあがとうございます。

いつもの会報を送つていただきありがとうございます。商店街を久しぶりに通りました。

めでとうございます。

## 建築請負【創業大正13年】

# 森田工務店

豊中市勝部1-9-20 ☎ 06-841-3702

高校8期 森田司朗 高校13期 森田喜八郎

株式会社

# 森田工務店

高校8期 森田司朗 高校13期 森田喜八郎

## 各期連絡先

期	氏名	電話	期	氏名	電話	期	氏名	電話
女1	越水ユリ	06-852-8755	高33	池本清人	06-866-6789	定25	大町裕次	06-862-7083
女2	北川富美子	0798-74-3024	高34	山口誠	0720-94-1848	定26	片山勝重	06-843-6443
女3	松尾郁子	06-336-1765	高35	川嶋道代	0727-29-6099	定27	稻井幸雄	0727-28-0955
女4	小林三七子	0797-71-1064	高36	安藤昌博	06-832-7930	定28	真下保	06-385-6190
女5	服部智恵子	06-855-0720	高37	高崎健治	06-623-6801	定29	寒川悟	06-607-0580
女6	青木操子	06-843-2552	高38	堀田繁	06-841-0598	定30	天涯池みゆき	06-333-5761
女7	黒田長子	06-854-5432	高39	須崎康広	0727-52-6441	定31		
女8	中村陽子	06-844-1570	高40	浅谷美和	06-862-6896	定32	高畠幸三	
高1	安達良子	0727-21-3901	高41	坂口大介	06-303-4831	定33	立花富美	
高2	菊池茉美	06-852-4117	高42	東紀江	06-371-5696	定34	清水美佳	0727-61-3323
高3	谷田探成	06-314-0550	高43	横尾さち子	06-854-0026	定35	浜田清文	06-864-6366
高4	中右吉信	06-855-5372	高44	倉谷実	06-302-2184	定36		
高5	宮口一郎	06-852-4859	高45	田中嗣浩	06-854-3605	定37	渡部二郎	06-863-0058
高6	一色貞輝	06-852-3962	高46	金森直人	06-862-4255	定38	三浦智幸	
高7	川崎充康	0727-53-9518	高47	小楢善久	06-862-8874	定39	森本真裕美	06-849-7859
高8	森田司朗	06-872-3329	高48	長嶺秀則	0727-52-6326	定40	二宮千夏	06-333-1209
高9	安浦果	06-855-4486	高49	荒井純一	0727-52-2457	定41	奥田康弘	06-388-7339
高10	唐渡吉則	0727-52-4548	高50	山崎祥平	06-385-4990	定42	菊永以言	06-853-6877
高11	田中渡	06-852-2923	定3	上田孝彦	06-853-2162	定43	井阪はる奈	0727-23-9616
高12	谷木光一	06-855-5858	定4	府上恵二	06-852-7122	定44	大塚俊二	0727-62-7873
高13	細川和彦	06-849-6879	定5	橋本昌員	06-854-0234	定45	大塙昇司	06-331-5766
高14	吉田裕理子	0727-51-5687	定6	木田隆幸	06-864-2452	定46	青木洋人	06-862-9946
高15	大畠光昭	06-841-8135	定7	大倉晴夫	06-862-5752	定47	桑原丞	06-852-0305
高16	中務公子	06-858-4509	定8	高木清伸	0722-50-6595	定48	野口光弘	06-393-3669
高17	福本育馬	06-333-6636	定9	大谷収	0720-44-2311			
高18	北川悟司	06-843-1336	定10	長野昌子	06-844-0473			
高19	奥田敏輝	06-843-9397	定11	永井敏輝	06-852-0333			
高20	山中清利	0727-51-4408	定12	笹部修造	06-852-0475			
高21	山本登志恵	06-924-3544	定13	中岸澄江	06-843-5737			
高22	平本裕一	06-855-2482	定14	杉本土生	0727-28-1497			
高23	後藤保二	06-373-7380	定15	北浦修	06-333-4833			
高24	梅田純子	06-329-6309	定16	森島作蔵	06-857-6219			
高25	原慎寿子	06-849-9986	定17	前田政治	06-855-8451			
高26	金ヶ江裕之	06-852-1224	定18	中島健二	0727-22-8153			
高27	柳沢勤	06-947-1780	定19	飯田悦弘	06-855-3440			
高28	市田隆士	0595-52-0715	定20	樋原洋一	0727-21-1124			
高29	山沢健二	06-885-0370	定21	児谷幸子	06-862-1946			
高30	木村慶子	06-853-9213	定22	西田惣一	06-850-2955			
高31	榎香世子	06-393-7216	定23					
高32	竹田伊都子	06-332-4076	定24	日紫喜富美				



創立60周年記念協力金  
◆協力金をありがとうございます◆

創立60周年記念協力金  
◆協力金をおあがどうぞざいます◆

## ◆履正社高等学校

## ◆履正社学園豊中中学校

#### ◆履正会館 (RISEI体育・文化活動)

## スイミングクラブ・フィットネスクラブ・カルチャースクール・幼児英会話教室

# ◆大阪情報経理専門学校

◆履正社学園 コミュニティ・スポーツ専門学校

学校法人履正社 (06)303-0025 理事長・学園長 釜谷行蔵(高校3期)



平成九年度協力金

一般内科・整形外科・理学療法・皮膚科・健康診断

# 安達クリニック

(高五期)	丸 瞳子
黒川由美子	(高六期)
田渕すみ子	(高七期)
富田あや子	(高八期)
大西千枝子	水野敬子
馬場幸子	松浦宏司
紀伊滋子	(高九期)
福富行彦	（高八期）

和氣禮子  
佐野幸子  
坂本陽子  
森田隆子  
森田安恵  
渡辺康子  
常包素子  
鶴見マヤ子  
堀川隆子  
北島安恵  
指尾千枝  
佐藤千代子  
藤木典子  
古山貴子  
森脇晴子  
藤木典子  
佐藤千代子  
岡本愛子  
木方嘉子  
木下千代子  
森脇晴子  
岡本愛子  
城倉都子  
木下千代子  
新妻明子  
深田章子  
安福節子  
北野敦子  
石毛納子  
田中美雪  
橋本育代  
岩橋久美子  
池崎邦夫  
斎藤節子  
菅原一真子  
中川恭子  
植田泰子  
島田恵子  
山本璋子  
藤波純子  
西田明子  
並河智恵子  
福田千恵子  
仁木悦子  
伊藤淳子  
藤本芳子  
山脇洋子  
松浦峻  
村上光  
森田千加子  
清公子

(高十期)	橋本喜代子	渡辺歌子
(高十一期)	筒井孝子	加藤敏子
(高十二期)	福山康子	
(高十三期)	大星美智子	
(高十四期)	橋本典子	
(高十五期)	北奥博子	
(高十六期)	建部順子	
(高十七期)	小林久枝	
(高十八期)	南寿子	
(高十九期)	バルタ公子	
(高二十期)	菅本タカナ	
(高二十一期)	田中順子	
(高二十二期)	宮下孝子	
(高二十三期)	中津喜代子	
(高二十六期)	寺西順子	
(高二十七期)	北野井美枝子	
(高二十九期)	山田英子	
(高三十期)	未廣孝子	
(高三十一期)	日野出亮子	
(高三十二期)	藤永昌子	
(高三十三期)	徳田智子	
(高三十五期)	室佐和子	
(高三十九期)	(高三十九期)	

奥斐佑子 倉内知恵子  
谷辰子 西田公子  
山野井茂登子 柏原明子  
大石佳世子 大石佳世子  
木村紀子 清水康子  
倉戸由紀子 倉戸由紀子  
平田千鶴子 前田ひろ乃  
太平耕資 井上志寿子  
藤本道子 関谷幹夫  
竹川貴美恵 川島雅子  
山本英倭子 村上幸裕  
富田民子 小宮久恵  
吉岡彰 西口幸雄  
早島悦子 久本久子  
中島とも子 林佳子  
池田みち子 田渊祐子  
藤田直子 吉田真紀子  
清水俊史 武田寿子  
杉田律子 石川裕美子  
岩崎浩子

小川尚子 馬場文子 西島詩子 花田治雄  
加藤武司 古谷弘 薮内省吾  
竹内三知子 進藤鉛代

田邊光子	衣川全子	白井艶子	歌橋湘子	高女八期	高橋董子	小澤澄子	根上恵美子	鈴木喜代子	細見彰子	（高一期）	田辺英子	佐藤悦子	（高二期）	関原澄子	吉本登久子	花井登志子	（高一期）	菊川冴子	三輪順子	松尾千恵子	（高八期）	山下聖子	（高九期）	（高六期）	（高五期）	（高七期）	（高十期）	（高十二期）	（高十三期）	（高十五期）	（高十六期）	（高十四期）	（高十七期）	（高十八期）	（高十九期）	（高二十期）	（高二十一期）	（高二十三期）	（高二十四期）	荒川芳郎
------	------	------	------	------	------	------	-------	-------	------	-------	------	------	-------	------	-------	-------	-------	------	------	-------	-------	------	-------	-------	-------	-------	-------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	--------	---------	---------	---------	------

安井初美 漆崎美津江 和田英子  
門嶋紀子 賀須井幸子 大野富士子  
矢口里子 川端安世 小島京子  
荒木幸子 丸岡素子 永妙子  
池永敏江 上田和子 田中由子  
石原綾子 松村駿一郎 福士香織  
伊藤恭子 松田邦子 米田正弘  
大内雍子 森田淑子 故・青井幸久  
倉石豊美子 二村尚子 西村洋子  
丸田菊代 河井照惠 木下圭子  
境公子 今泉元子 岩崎和子  
多治美左智子 荒川幸子 原道子

●編集後記

例年より十日程早く皆様のもとに会報をお届けすることができます  
した。東京支部総会が四月二十六日に催されるところで、広報委員一同がんばりました。見やすい、読みやすい、そして楽しい会報をと努力しているのですが、年に一度のことと思うようにはかどりません。

次号からは、会報有料化となります、尚和会会員諸氏のコミュニケーションの一翼を担えるようにと願っています。

発行にあたり協力いただきました皆様と、特に不況の嵐の中、広告掲載をお寄せくださいました方々には心からお礼申し上げます。いろいろなところで生涯学習をいわれている昨今、会報づくりもその一端ではないでしょうか。

（取扱説明書）

ぜひ、今後ともよろしくお願ひ致します

田中渡

旬の味を串揚げで！	
お昼の定食	1,500円
ハーフコース(15本)	3,500円
おまかせコース(27本)	5,700円

